

---

# 造影剤を使用するMRI検査を行う患者様へ

---

造影剤を用いることにより、病気の状態がより正確に把握でき、今後の治療に役立てることができます。安全な薬ですが、まれに副作用が起こる場合があります。

---

## 1. MRI用造影剤(ガドリニウム製剤)の副作用の種類は次のようなものです。

### 1) 軽い副作用

吐き気・嘔吐・熱感・動悸等で、基本的には治療を要しませ。このような副作用が起こる確率は、約100人に1人以下　つまり1%以下です。

### 2) 重い副作用

呼吸障害・血圧低下・意識障害などでこのような副作用は通常治療が必要で後遺症が残る可能性があります。そのため、入院・処置・手術が必要な場合があります。

このような副作用が起こる確率は約1万人に1人　つまり0.01%です。

### 3) 非常にまれですが、病状・体質によっては約100万人につき1人の割合で0.0001%で、死亡する場合があります。

\*なお、造影剤を急速注入する必要がある検査で、血管外に造影剤がもれる場合があります。この場合、注射部がはれて、痛みが伴う場合があります。通常は、時間がたてば吸収されるためご心配はいりません。しかし、もれた量が多い場合は、別の処置が必要な場合がありますが、非常にまれです。

### 4) MRI用造影剤の禁忌について

気管支喘息・重篤な肝障害・重篤な腎障害をお持ちの方は、原則造影検査をお受けになることができません。

## 2. 妊娠中、授乳中の方へ

妊娠中の造影剤を使用した検査は、原則行いません。授乳中の方は、48時間(最低24時間)授乳をお止めください。

## 3. 検査前の絶食について

腹部・骨盤等・乳腺のMRI検査をお受けになる患者様においては、検査3時間前の食事はお控えください。

水分については、1時間前よりお止めください。尚、牛乳などの乳製品はお止めください。

---

# 承諾書

殿

わたくしたちは、造影MRIの検査が必要なことについて医師から説明を受けましたので、それを受けることに同意します。

なお、このたびの検査に関連して、緊急の場合または医学上の立場から、処置の変更をする必要がある場合には、その処置を受けることについても同意します。

平成 年 月 日

本人 現住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ (印)

配偶者・親権者・その他親族( )

現住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ (印)